

申25号「電気部門の変革2022」新組織への 移行の延期に関する申し入れ団体交渉①

第1項：4月16日の体制変更を延期すると判断した理由を明らかにすること。また、延期した期日を5月13日とした根拠を明らかにすること。

回答：4月7日に発出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を受け、複数の地方自治体より、特定警戒都道府県からの転入者に対して一定期間自宅待機等が要請される状況等を踏まえ、体制変更の実施時期を延期とした。なお、各種対応を実施し、5月13日に新しい体制へ移行する。

(組) 判断する材料とタイミングは何度もあったと思うが、4月14日という直前での判断になってしまった根拠と判断する決め手となったものを教えてほしい。

(会) このコロナの状況というのは日々変わってきている状況もあって、本社の方もやはりインフラを支える企業として、どのように対応していくかと悩んでいたということも聞いている。4月14日になってしまったということも色々本社の方で考えた末である。

(会) 不安の声については、社員から声があったら順次言っていて、それに対して適宜対応していく。丁寧に対応するように、こちらからも現場の方にはお願いするようにする。

(組) その人がいないから対応できないというような機会がとても多いので、それを改善する予定は今後あるのか。当面は見直すことはないということか。

(会) 現状コロナが終息するまでは、この体制を維持していくといったところで考えている。

第2項：新しい体制へ移行する準備の進捗状況において成果と課題を明らかにすること。また、5月13日までに新たな準備が発生するのか明らかにすること。

回答：4月16日から新しい体制へ移行する準備を万全に整えていた。また、5月13日までに新たな準備は特に発生しない見込みである。なお、特定警戒都道府県からの転入者に対して、2週間の自宅等での待機を行ってきたところである。

(組) コロナの関係で自宅待機もあって、実際はうまくいっていない。「万全に整えていた」というのはどの辺の事を言っているのか教えてもらいたい。

(会) 必要最低限の業務は出来るといったところで、準備を万全に整えていたところだ。

(組) 出来なかった部分については、再度職場に説明していただけるということでもよろしいか。

(会) 設備管理システムの切り替えの方は終わったが、一部承認されていなかった部分について移管されていなかったと、変わっていなかったという情報が入っていたので、その辺についても現場の方に連絡をして対応を取ってもらっているところ。

第3項：延期することによって支障が出た範囲とその対応策を明らかにすること。

(組) 本来新幹線通勤する予定もなかった社員に余計な税金の負担が強られることになる。このような負担している部分、不利益のないように補償されという認識で合っているか。

(会) 4月14日のタイミングの時には各職場の方に、どういった社員がいますかということで確認をさせていただいて、対応させていただいたところである。今後こういった、同様の事象が起きては欲しくないが、起きた場合にはこのように各個人に対して、丁寧に話を聞いて対応させていただくようにしていく。

(組) 直前での事前通知の取り消しということは基本的にはやらないという認識でよいか。

(会) やらないということはこの場では申し上げることは出来ない。みんな試行錯誤しながら動いている状況もあるので、そこについてはこういった状況が起こったら、丁寧に説明しながら対応の方は進めていきたいと考えている。